

May 2023

Kyoto Institute for
Regional Prospects
KIRP

NEWS LETTER NO.31

Kyoto Institute for Regional Prospects

NEWS

本学では、京都府内の地域振興や産業・文化の発展等に貢献することを目的として、2004年度から地域貢献型特別研究(府大ACTR)に取り組んでいます。今年度は次の17件の研究が採択されました。今後は本学教員を中心に各地域での調査研究が始まります。

ACTRとは？

ACTRは、Academic Contribution To Region の略で、「地域に貢献する学術研究」を意味します。京都府内の市町村、府内に立地する企業、NPO等から寄せられた地域課題の提案に基づき、本学教員とマッチングが成立した研究に対して、学内外の審査員による審査会を経て決定しています。

【ACTR】2023年度京都府立大学 地域貢献型特別研究(府大ACTR)が決まりました！

| 研究課題 | 代表者 | 主な活動地域 |
|--|--------------|--------------------------|
| 戦争の記憶の記録化と次世代への継承の仕組み構築 | 上杉准教授 (文) | 京丹後市、 舞鶴市、 南丹市、亀岡市 |
| 無病長寿の霊果といわれるムベの食品機能性成分の同定と作用機構の解明 | 中村教授 (文) | 福知山市 |
| 京都府北部のMALUI連携による文化資源を活かした地域づくり | 東教授(文) | 京丹後市、 宮津市 |
| 地域・学校・博物館との連携にもとづく文化遺産の次世代に向けた活用研究 | 菱田教授 (文) | 福知山市 京丹後市 |
| 文化庁MALUI(マルイ)連携による綾部市君尾山(きみのおさん)歴史ふるさと活性化事業―「国宝二王門と巨樹の森」の魅力発信と次世代継承― | 横内教授 (文) | 綾部市 |
| 京都市南部近郊都市(宇治市・長岡京市)における空家のデータサイエンス分析と今後の発生予防と利活用方策 | 駒寄准教授 (公) | 長岡京市、 宇治市 |
| 学研都市のまちづくりと住民参加の理念と実際―精華町都市計画マスタープラン改定プロセスでの社会実験― | 駒寄准教授 (公) | 精華町 |
| スマート農業を利用した鳥獣害軽減方法の確立と果樹栽培高度化技術開発 | 板井教授 (生) | 京丹後市、 精華町 |
| 京都在来ブドウ品種‘聚楽’の復活栽培に向けた技術開発と新たな利用方法の開発 | 板井教授 (生) | 京都府域 |
| 京丹後の海の魅力あるブランディングに向けた海水浴場の調査・分析およびデジタルアーカイブ化 | 岩崎准教授 (生) | 京丹後市 |
| 京都府宇治の抹茶製造工程で廃棄される茎から得られる抗菌物質の活用 | 岡准教授 (生) | 京都府域 |
| 地域森林資源の搬出と流通の促進に向けた林業DX(デジタルトランスフォーメーション)京都モデルの構築 | 神代准教授 (生) | 京都府域 |
| 昆虫の養殖飼料化を基盤とする新たな養鶏システムの確立-京都府基幹産業が抱える課題の包括的解決に向けた取り組み- | 田中准教授 (生) | 京都府域 |
| 大江山連峰の地質と地形を生かした自然循環農業の町づくり | 中尾准教授 (生) | 与謝野町 |
| 北山杉・京銘竹等の京木竹材の標準化(規格化)―伝統工芸技術継承を含めた科学によるトップブランド化- | 古田教授 (生) | 京都府域 |
| 京都府産宇治茶の安定生産に貢献する生育予測研究 | 森田准教授 (生) | 宇治市 |
| 京都府希少農作物が持つ有用成分を生かしたブランド化推進と商品開発 | 森本講師 (生) | 城陽市、 亀岡市、 舞鶴市 |

(文)文学部、(公)公共政策学部、(生)生命環境科学研究科

2022年度
府大ACTR
成果報告会・
成果発信

舞鶴市

「京都府北部のMALUI連携による
文化資源を活かした地域づくり」

WEBサイトURL : <http://marumaru.kpu-his.jp/>

文学部歴史学科では、2022年度ACTR（地域貢献型特別研究）「京都府北部のMALUI連携による文化資源を活かした地域づくり」（研究代表：東昇）の一環として、舞鶴地域でMALUI連携の文化資源データ作成を行いました。このたび、その成果である連携WEB「まるまる舞鶴」を公開しました。

MALUI連携とは、M（博物館）A（文書館）L（図書館）U（大学）I（企業）の文化資源情報を集約し、地域において活用を行う事業です。これまで、MALUI連携WEBは大学と図書館の個別検索はありますが、複数機関・団体のデータを一括検索できるものは国内でも稀です。

この連携では、個々に存在する各機関の連携を促進→各機関の情報を集約→それらの情報・文化資源の共有化をはかり、地域づくりに新たな循環を作り出すことを目標としています。地域のみなさんの文化資源をシェアする場所として、「まるまる舞鶴」が生まれました。

今回のスタートでは、舞鶴地方史研究会、舞鶴市郷土資料館、舞鶴山城研究会、京都府立大学が協力し、各機関・団体がこれまで作成した刊行物などのデータを検索・閲覧できます。

現在、コレクション16件、コラム650件を掲載し、今後も追加していく予定です。



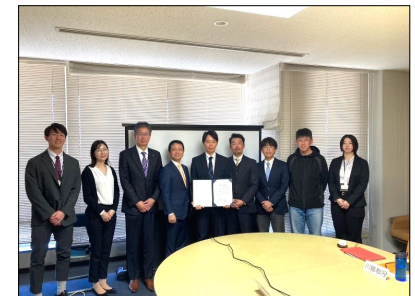
まるまる舞鶴サイト▶



まるまる舞鶴サイト



まるまる舞鶴サイト



報告会終了後、集合写真



修了証授与後に上村市長・今堀研究員・センター長

「京田辺市「住民協働型まちづくり協議会」の在り方提案」

報告会概要：日程 3月20日（月）
場所 京田辺市役所議会会議室
主催 京田辺市

京田辺市からの派遣で当センターの研究員として在籍していた今堀研究員のACTR成果報告会が、京田辺市役所で開催されました。

京田辺市における区・自治会や地域人材の実態を調査で明らかにした上で、まちづくり協議会において地域人材が有効に活用されるためにはどうすればいいか提言されました。

また報告会后、2年間の当センター研究員としての活動に対する修了証が川勝健志センター長から今堀研究員に授与されました。

桜楓講座～春の部～ご案内

京都府立大学では、毎年春と秋に公開講座「桜楓講座」を開講しています。各学部の教員が各々の研究内容をわかりやすく解説し、毎回好評をいただいています。今年度春の部は、公共政策学部と生命環境科学研究科から2テーマでオンデマンドの講座配信をします。是非ご視聴ください。



申し込みフォーム

- 1 配信期間 6月20日（火）～7月1日（土）
「歴史と経済の交差点から森林の公益的機能を考える」公共政策学部 教授 桂 明宏
- 2 配信期間 7月2日（月）～7月13日（水）
「木材からバニラを作る - 化学資源としての木材」生命環境科学研究科 准教授 細谷 隆史